



銑鋼一貫生産体制確立50周年

～ (株)神戸製鋼所 ～



50周年記念モニメントの前で

当社は、1959年1月16日に、現在の神戸製鉄所に当社としては初めてとなる第一高炉を建設・完成し、火入れ（一次）式を行った。
 当社はこれより、鉄鉱石・石炭から鋼を製造する銑鋼一貫生産体制を確立し、以降、幾多の試練を乗り越え、今年1月16日に、丸50年を迎えた。

第一高炉稼動後、同製鉄所内に2基、更に加古川製鉄所に3基の高炉を建設し、また、1965（昭和40）年に合併した尼崎製鉄（株）における2基の高炉の合併後の生産量を加え、50年で3億トンを超える銑鉄の生産を行ってきた。

これを記念して、神戸製鉄所では、2007年の第3高炉改修で取り出された高炉の鉄皮を用いたモニメントを製作した。